

# ゆるぽと

### 主な内容

- P1…金胡麻油「陽の雫」完成
- P2…たんぽぽ活動報告 10 月～12 月
- P3…たんぽぽ活動報告 10 月～12 月
- P4…たんぽぽ製品 2011 のご紹介他

e-mail:tanpopo-happy3232@opal.plala.or.jp

## 金胡麻油 「陽の雫」完成!



たんぽぽハウスは、2010年に新たに取り組んだものとして、金胡麻作りがありました。昨年(4月)に布田地区の畑(約3反)に金胡麻の種をまき、無肥料、無農薬の自然栽培に挑戦しました。胡麻の栽培に取り組んだ理由として二つあり、一つ目は、国内で使われている胡麻のおよそ99.9%以上が輸入物という事実には驚いたことでした。胡麻は、日本食の代表選手として古くは、縄文時代から日本人に親しまれてきました。その栄養価と、香りの良さで、現在まで、さまざまな日本の料理に使われてきていますが、その胡麻が、安い輸入物が入って来るようになり、何時しか日本では作られなくなっていました。気候変動による食糧不足は、輸入に依存している日本を直撃します。自分達が食べるものは自分たちで作る。小さな活動ですが食料自給率を上げていくことがこれからとても重要になって来ると思われるからです。二つ目は、日本で栽培されなくなっているから、どのように胡麻が出来るのかということを知らない子供が増えてきたということですね。実際、親でも胡麻の花や胡麻の実を見たことが無い人は多いはず。こんなに親しまれているにもかかわらず、こんなに実態を知られていない作物もなく、寂しい話です。食育の観点からも胡麻のことを沢山の方々と一緒に勉強していきたいと思っただけです。4月に種をまいた胡麻は10月の初めに収穫し、束ねて納屋にて1か月ほど乾燥させました。それを、ブルーシートを敷いて叩いて落とし、唐箕で選別します。作業には、地元の方々他、ホームレス支援の会からも大勢手伝いに来てくれました。今回、50kg以上の胡麻が収穫でき、その内の30kgを八代にある堀内製油さんに加工して頂き、この度、たんぽぽハウス金胡麻油「陽の雫」が完成しました。金胡麻油は、胡麻油の中でも香りが良く最高級品とされています。その中でも国内産のゴマ油は、生産量が極めて少なく、高価で取引されていて、しかも、自然栽培のものは幻の存在となっています。この貴重な自然栽培金胡麻油「陽の雫」(限定40本 200ml)を販売致します。くわしくは、たんぽぽハウス(279-3666)までご連絡ください。

# たんぽぽハウス活動報告10月～12月

## 阿蘇ボランティア フェスティバル



10月23日(土)、阿蘇体育館において「火の国ボランティアフェスティバル」が開催されました。今回で5回目となるこのイベントは熊本県内のボランティア、福祉関係者などが一同に集い、県内の地域ボランティア振興のため、各地域の持ち回りで行われています。5年前に始めて阿蘇で行われたこのイベントに立ち上がったばかりのたんぽぽハウスは参加させて頂き、それ以来の2回目の参加です。会場では地元の飲食店など20店以上の店が出ており、たんぽぽハウスは、焼きそばを販売させて頂きました。曇り空の風が吹く肌寒い一日でしたが、西原村からも民生委員さんなど40人以上の方がお越しになり、たんぽぽハウスのブースで沢山焼きそばを買って頂きました。

## さわやか長寿大学 から応援隊

10月14日(木)、さわやか長寿大学熊本校から10人の応援隊が来られました。さわやか長寿大学とは毎週木曜日に県の総合福祉センターにて一年間のカリキュラムを通して様々なことを学んでおられる方々で、受講資格が60歳以上で、定員が100人。県内各所から通っておられます。今回、グループに分かれて県内の視察先を探しておられたところ県の福祉のまちづくり課からたんぽぽハウスを紹介されたとのことで、今回の農作業応援隊の運びとなりました。男性陣には畑で落花生のぼっち作り、女性陣は、加工場で味噌作りと昼食のだご汁作りをさせて頂きましたが、どちらも好評で大変勉強になったと感謝しておられました。



## 山西小2年生社会科見学



10月26日(火)、山西小学校の2年生8名の生徒さんが、社会科見学でたんぽぽハウスを訪れてくれました。お互いの自己紹介の後、生徒さん達から、仕事の内容、仲間たちの事、たんぽぽの名前の由来など、たくさん質問をしてくれました。「たんぽぽの綿毛が風に舞い、広がっていくように福祉の心が広がってほしいとの願いが込められています。」との説明を聞いてみんな感心していました。たんぽぽハウスに初めて来た生徒さんが殆どでしたが「たんぽぽハウス」のことはみんなが知っていました。「アルミ缶や新聞の回収をする所」として知っていたようで、「僕たちもお母さん達に言って協力します。」と言ってくれました。

## 小豆収穫応援団

11月13日(土)、西原村小野地区に作付した約3反の小豆畑の収穫に大応援団が駆け付けてくれました。さわやか長寿大学から7人、熊本ホームレス支援から6人、作業所「未来」から4人、小野地区中山間から5人、サロンから7人、計29人。小野地区の棚田が一気に賑やかになりました。小豆を引いて逆さにする「地干し」が当初、一日がかりと思われていましたが、大勢でやったため、2時間もかからず終わってしまいました。サロンからは呉汁、煮しめ、おにぎり、ぜんざいなどのおにぎり、おにぎり、ぜんざいなどのたんぽぽで取れた食材を中心に美味しい郷土料理を作って頂き、役場駐車場にて大勢での昼食会をとらせて頂きました。美味しい料理にみんな舌鼓を打っていました。



## 山西小6年生から薩摩芋



11月16日(火)、山西小学校の6年生の生徒さんが、たんぽぽハウスを訪れ、自分達で作った、収穫したサツマイモを「皆さんで食べてください」と、持って来てくれました。とても大きく、立派なサツマイモで、コンテナ2箱分も頂きました。早速、次の日、昼食にてんぷらにして出してみると、とっても甘くて美味しく、仲間達に好評でした。6年生の皆さん、ありがとうございました。6年生の皆さんとは、2年前からたんぽぽとの交流があり、昨年は、竹とんぼ作りやクッキー作り、お手玉教室もしました。仲間達もみんなが大好きです。今年も3学期に皆と交流出来ることを楽しみにしています。

# 西原ふれあいまつり



11月21日(日)、西原中学校グラウンドにおいて第11回西原ふれあい祭りが開催されました。今年のお祭りは、天気にも恵まれ、晴天の風の無い穏やかな一日となりました。そして、今回は、司会に熊本のテレビタレントの黒木よしひろさんや、仮面ライダーショーなどゲストも多彩で、お客さんも沢山お見えになりました。お好み焼きと手作りコロッケを販売したたんぼぼのお店も開店と同時に行列ができ、全てが完売。途中、コロッケが破裂したり、お釣りが無くなったり、お好み焼きの生地が無くなったりとハプニングが続出しましたが、全てを終えてみんなは、充実した顔をしていました。

# 忘年会旅行

12月3・4日(金・土)、たんぼぼハウスの忘年会を兼ねた一泊の旅行をしました。この日のために、一年間、コツコツ積み立てをしてきましたが、予算の都合上、県内を観光し、南関のホテルに泊まることになりました。車3台に分乗し、白川水源、阿蘇ファームランド、阿蘇山頂を見て回り、山賊茶屋で昼食をとりました。雪もチラつく寒い日の中の寒い処巡りのツアーに、クレームが出るかと思いきや、「初めて来た」と以外にも喜んでくれました。ホテルでは、温泉に入り、夕食の後、カラオケ大会をしました。意外にみんなカラオケ好きで、なかなか順番が回らないくらいでした。最後に大抽選会を開き、当たったプレゼントに皆一喜一憂していました。



# のぎく荘出張喫茶



12月1日から11日までの期間に5回ほど、のぎく荘において出張喫茶を行いました。たまごボーロ、クッキー、シフォンケーキなどのたんぼぼの手作りお菓子とドリップコーヒーを用意して仲間たちがデイサービスにいられている利用者の方々をお迎えしました。今回のお菓子は皆さんに好評で、「今年は、やおーしてうまかばい」という感想をいただきました。又、たんぼぼの仲間たちも出張喫茶を始めて今年で5年目。なれた様子で接客をしていました。部屋にはコーヒーマシンの香りや漂い、俵山を眺めながらの優雅な一時を皆さん満喫しておられました。

# 子育て支援とお菓子作り

12月2日(木)、子育てサークルの皆さんと一緒に、たんぼぼハウスでお菓子作り教室を行いました。たくさんのお友達が集まり回る中とても賑やかな教室でした。たまごボーロや、シフォンケーキの作り方を子供たちと共に熱心に勉強されておられました。お金を出せば色々なお菓子が手に入る時代ですが、いつの時代も子供の心に残るのは、お母さんの手作りおやつであることは今も変わりません。子供たちもお母さんの愛情が伝わったのか、出来たそばから手作りお菓子を頬張っていました。



# ありがとうございましたお歳暮セット



今年のお歳暮セットの注文の受付が、12月に入ってからと、大変遅くなり申し訳ございませんでした。にもかかわらず、沢山の方に注文して頂き、最終的に115セットを発送することが出来ました。ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございます。今年の春より、皆で他に無い良いものを作ろうと西原村の大地に作付けが始まりました。大豆、小豆、落花生、胡麻、お米など、全てを無肥料・無農薬の自然栽培で栽培しました。慣れない農作業に加え、真夏の草取りや、暗くなるまでの収穫作業。そして加工。それでも、一つ一つ丁寧に一生懸命作りましました。その集大成が今回のお歳暮セットでした。全てが仲間達の手による渾身の逸品です。まだまだ、未熟な私たちですが、皆様に喜んで頂ける製品作りに今年も取り組んでいきたいと思っております。

# たんぽぽ製品2011のご紹介



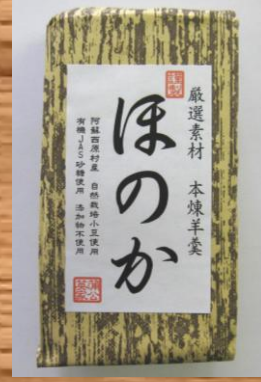
焙煎落花生  
280g 1000円



ピーナッツ和えの素  
20g×4袋入り 350円



阿蘇の麦味噌  
800g 600円



本練羊羹 ほのか  
480g 1300円



金胡麻油 陽の雫  
185g 3800円

原材料のほとんどを、西原村産、無肥料、無農薬、自然栽培で栽培されたものを使い、無添加で仕上げました。どれもが仲間達の手によって作られた渾身の逸品です。

萌の里、夢市場、やさしい畑（健軍自衛隊前）にて販売致しております。※たんぽぽハウスにてご購入頂けます。



## ホームレス支援の会に 支援物資届ける

2月24日（木）、熊本市にあるホームレス支援センターに支援物資を届けました。2008年のリーマン破綻から始まった世界的大恐慌は日本へも波及し、末端の生活弱者を直撃しました。派遣切りなどで職や住む場所を失った人たちが急増し、いまだそこから抜け出せない方が大勢いらつしやいます。現在、熊本市には約200人のホームレスの方が居られ、公園、橋の下、車の中などで生活しておられます。そんな方々の救済活動をしておられるボランティア団体「NPO法人 熊本ホームレス支援の会」の皆さんとは3年前より交流を重ねてきました。今回、お米60kg、人参10kg、玉葱10kg、ジャガイモ20kg、味海苔などを代表の嶋本理事長にお渡ししました。ホームレス支援の会では、支援物資（特にお米）や寄付を募っています。ご協力頂ける方は、たんぽぽハウスもしくは、熊本ホームレス支援の会（096・385・6299）にご連絡ください。

## 編集後記

先日の土曜日、山西小学校のある6年生の7人がたんぽぽハウスを訪ねてくれました。午前中、仲間たちと一緒に仕事を手伝ってくれたのでお昼ご飯を一緒に食べました。聞くとその7人は、午後から名ヶ迫（地区名）にある立て看板の落書きを消しに行くとのことでした。その言葉に感激したメンバーも、仕事を早めに切り上げ手伝いに行きました。小学生達は、拭いても消えない落書きをペンキで上から塗りつぶし、きれいに看板を修復しました。頼もしい後輩たちとの交流にメンバーもいい感化を受けたようでした。（ゆるっと編集委員 久保田）

## ボランティア大募集!

たんぽぽハウスでは、ボランティアを募集しています。棚田でのお米作りや、畑での野菜や穀物作り、味噌作りなどの加工品作りなど。仲間と共に、汗を流し、美味しいものを食べ、学び、笑い、そして、共に成長していく、そんなボランティアアさんを募集しています。年齢、性別は問いません。出来る日時も問いません。詳しくは、たんぽぽハウスまで。

行事予定表	
1月	冬あかり瓶洗い 大豆・落花生取り込み 山西小餅つき大会 1月組誕生日会
2月	冬あかり (5,6日) のぎく祭り (27日) 恵方巻き作り
3月	山西小との交流 河原小との交流 西原中との交流